



月刊

# 社協だより

平成29年  
11月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 土砂災害防止法による 調査始まる

広島県の土砂災害防止法に係る基礎調査が開始されます。狩小川学区は県の計画では三十年代に実施の計画でしたが、狩留家に公のコミュニティセンターを建設するので調査を急いで欲しいと広島市から広島県に要請していただき、今年度内実施の運びとなりました。

この調査は、安佐北区、安佐南区の土石流大災害の経験の下、広島県が全城の調査に乗り出したものです。この調査で土石流危険地域のレッドゾーンやイエローゾーンに指定されると、建築物の機能によっては建築許可可・否が判定される条例です。

この度の調査で危険区域外であると判明しなれば、特に福祉に係る公の建造物を新築することは出来ません。

狩留家・町づくり推進協議会ではこの調査を早く実施するように催促してきました。この調査結果が出ないと拠点作りを前に進めることが出来な

いからです。

この調査に関係がありそうな地主さんの所には県から調査にご協力頂くための案内書が配布されています。案内書が届いた方は積極的に調査にご協力ください。

この調査で危険区域に指定された場合、建築物の使用制限が課せられた

## 昔遊びの会開かれる

### 子どもたちの歓声と笑顔の輪

11/8



平成二十九年十一月八日水曜日、狩留家地区社会福祉協議会、小河原・上深川地区社会福祉協議会のみなさまに、狩小川小学校一年生二十六名が、昔遊びを教えて頂きました。

「凧あげ」では、手作り凧を作って校庭で上げました。ビニールや和紙に竹ひごをはり、全力で走ると、空高く舞い上がりました。子どもたちは、歓声を上げて喜んでいました。

「竹馬」では、手作りの竹馬とポックリで遊びました。支えていたがきながら、「右、左、右、左」と脚を前に出していく子どもたちは、緊張しながらもとても楽しそうでした。

### 理事会報告 議題

平成二十九年十一月十四日  
一、高陽記念クリニック内覧会について  
二、普通救命講習について(十一月二十六日)  
三、ぬくぬく会・サロン交流会について(十二月一日)  
四、平成二十九年安佐北区社会福祉大会について

「こま」では、ひもの巻き方から丁寧に教えて頂き、こまを回すことが出来ました。

「紙飛行機」では、よく飛ばす飛行機の折り方を教えて頂いたり、工夫したりして、紙飛行機を飛ばすことが出来ました。

「あやとり・おはじき」では、ほうきやはしごを作ったり、おはじきをたくさん集めたり、楽しく活動することが出来ました。

子どもたちの笑顔の輪が広がりました。昔遊びの先生方、今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

(二年生担任)

## やさしさ発見したよ かこかわ子どもフェスタ

10/29

十月二十九日(日)かこかわ子どもフェスタで狩留家社協は、「やさしさ発見・第七弾」車椅子体験コーナーで参加しました。

あいにくの雨で児童館遊戯室での開催となりましたが、六十名の子どもたちが介助する側される側の体験をしました。

場所が狭く充分なスペースは、晴れますように!!!

短い時間でしたが、相手の立場になって操作することの大切さを学んでくれたと思います。来年は、晴れますように!!!

十一月資源ごみ売上 一万八千円